

ブルスタマ フロアブル

®は登録商標



- 殺草スペクトラムは一年生イネ科雑草、および一年生広葉雑草と幅広い草種に優れた効果を発揮します。
- 問題雑草の“イチビ”や“イヌホオズキ”にも優れた効果を示します。
- 雑草の色素生成過程を強く阻害するので、処理された雑草は白化したのち枯死します。
- 飼料用とうもろこし、およびとうもろこしの生育期に雑草茎葉処理ができます。

一年生イネ科雑草



広葉雑草



問題雑草に対する効果



イチビ



イヌホオズキ

試験場所: 石原産業(株)中央研究所 試験条件: イチビおよびイヌホオズキに対し、ブルーシアフロアブル50mℓ/10a処理
処理時葉令: イチビ…4.1~4.5L(14-17cm)、イヌホオズキ…7.5~8.5L(27-30cm)



石原バイオサイエンス株式会社

登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量		本剤およびトルピラレートを 含む農薬の総使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
飼料用とうもろこし	一年生雑草	とうもろこし3~5葉期 ただし、収穫45日前まで	40~50ml	通常散布 50~100 ℓ 少量散布 25~50 ℓ	1回	雑草茎葉散布 または 全面散布
		とうもろこし6~7葉期 ただし、収穫45日前まで	50~75ml	100~150 ℓ		
とうもろこし		とうもろこし3~5葉期 ただし、収穫45日前まで	40~50ml	100 ℓ		
		とうもろこし6~7葉期 ただし、収穫45日前まで	50~75ml	100~150 ℓ		

上手な使い方

[飼料用とうもろこしの生育イメージ]

は種 → 3葉期 → 4葉期 → 5葉期 → 6葉期 → 7葉期 → 収穫

① 土壌処理剤を使用する場合
雑草処理が多い圃場や低温で雑草がダラダラ発生する圃場では、土壌処理剤との体系処理をオススメします。

② 土壌処理剤を使用しない場合
効果を補強するため、茎葉兼土壌処理剤との組み合わせをオススメします。

土壌処理剤

ブルーシアフロアブル 50ml/10a

ブルーシアフロアブル 50ml/10a + 茎葉兼土壌処理剤

- 雑草が大きくなりすぎると防除効果が低下しますので、早めの散布を心がけてください。
- 土壌処理剤との体系処理により、とうもろこし栽培後半期の雑草発生量をより低く抑えることが出来ます。
- 多年生雑草には十分な効果がありませんが、これらが優占する圃場では使用しないでください。
- ポップコーンには薬害の懸念があるため使用を控えてください。

殺草スペクトラム

雑草種別	イネ科	ヒユ科	キク科	タデ科	スベリヒユ科	ヒルガオ科	アカザ科	ナス科	ツククサ科	アオイ科	ナデシコ科	アブラナ科	カヤツリグサ科	
適用雑草	メヒシバ オヒシバ アキノエノコログサ イヌビエ	ホンアオケイトウ アオビユ	オオブタクサ フタクサ ハキタメギク オナモミ	オオイヌタデ イヌタデ	タニソバ スベリヒユ	アサガオ類	シロザ	イヌホオズキ	ツククサ	イチビ	コハコベ	オオツメクサ ツメクサ	スカシタゴボウ ナスナ	カヤツリグサ
	◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ △ ◎ ◎	◎ × ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎	◎ △ ◎ ◎	△ ◎ ◎	◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ △	

◎:効果極大、○:効果大、△:効果小(草丈が大きくなると効果低下)、×:効果なし
※薬量50ml/10aの場合、草丈20cm以下で◎となります。 ▶2012~2014年日植調委託試験、および石原産業(株)中央研究所社内試験データより

⚠ 使用上の注意事項

- ・ 使用の直前に、容器をよく振ってください。
- ・ 少量散布(25~50ℓ)の場合は、専用ノズルを使用してください。
- ・ 散布後、一時的にクロロシス症状を生じることがありますが、その後の生育、収量には影響しません。
- ・ 散布薬液の飛散によって有用植物に薬害が生じることのないよう十分に注意して散布してください。
- ・ 雑草茎葉にかかるよう、まきむらのないよう均一に散布してください。
- ・ 散布後6時間以内の降雨は効果を低下させるので、天候に注意してください。
- ・ 使用后、タンク、ホース、プーム、ノズル内に薬液が残らないよう散布器具は十分に洗浄し、他の用途に使用する場合、薬害の原因にならないよう注意してください。

⚠ 安全使用上の注意

- ・ 眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
 - ・ 皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
 - ・ 散布の際は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに、衣服を交換してください。
 - ・ 作業時に着用していた衣服等は、他のものと分けて洗濯してください。
 - ・ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 保管…密栓し、火気や直射日光を避け、食品と区別して冷蔵・乾燥した所に保管してください。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

本印刷物は令和2年12月時点での知見に基づいて作成しています。